



1158
3

3459
2

續江戸破子温故名跡志卷之三

菊岡沾涼纂

一 神社拾遺 并同類聚

名所古蹟拾遺

二 御外曲輪中日本橋 南芝口橋 北筋遠橋 東大川

三 淺草下谷 谷中 本江 駒込 深井 王子 小石川

四 小島 牛込 高田 大窪 市谷 四谷 赤坂 澁谷

五 櫻田 芝 三田 高輪 二本 櫻田 西窪 麻布 品川 白金 目黒

六 深川 本所 中御 龜戸 隅田川 葛西



續江戸破子

一 神社拾遺 并同社類聚

高田天神社 戸塚 別當 龜山真定院 不鳥院末 新集 室仙寺末六住

高社元 牛也天神所よりあり 神像于八分菅神所自作

寛永の比 大樹 寺末物也有り 神像之丈樹立度より

記 一 寺のより別當の院 大樹立度近外入本徳徳の之大樹流

増本江天神社 本江四丁目 富光山真光寺 天台 上野末

京北野社産 中間 菅丞相真道公 東間 中将殿 菅神 西向 吉祥寺 菅神

天神 寺新の地 末下立賣の南 鳥丸 一町 菅丞相 菅神 菅神

同社類聚 来歴系集見

湯宿天神 別當 喜見院 龜ヶ天神 別當 菅末院

牛天神 寺下 別當 昌都坊 平河天神 別當 龍服寺

飯奈天神 増上寺 別當 富藤院 天神山 真性寺

西向天神 大久保 別當 菅末院 天神社 別當 菅末院

補業平天神 中御 別當 菅末院 當社 菅神 一 二の院を

寛文の始は神ありて 菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神

真ありあり 菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

菅末院 菅神 菅神 菅神 菅神 菅神

久しき子飯を...
 〇又倉稲魂ハ本也ハ

〇同社類聚

増補の印なきハ本由不詳集以あり

補 王子稲荷 因別稲荷の司ことりてなり云々
 補 妻恋稲荷 湯宿の司ことりてなり云々
 〇或人の云
 〇或人の云
 〇或人の云

〇坊稲荷

池田の司事

〇柳森稲荷

柳系エ下

〇右田水稲荷

右田水の司事

〇白根稲荷

白根所寺

〇谷房稲荷

谷房の司事

〇おぢ稲荷

おぢの司事

〇代田稲荷

代田の司事

〇増末廣稲荷

増末廣の司事

〇増福徳稲荷

増福徳の司事

〇増常盤稲荷

増常盤の司事

〇増清水稲荷

増清水の司事

〇〆庄稲荷

〆庄の司事

〇補所宿稲荷

所宿の司事

〇二子島稲荷

二子島の司事

〇〆森稲荷

〆森の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇増池淵稲荷

増池淵の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

〇〆島稲荷

〆島の司事

增 柳箱荷 湯原新所 望月山正福院 法名の箱荷しむり
増 末廣箱荷 湯原新所 名を望月氏勅けしむり
増 松子箱荷 法名新所 正保山東漸寺 神田徳助の箱荷し
補 淨雲箱荷 上野新所 久し
○ 長左衛門箱荷 下谷小寺 忠清坊 増 及綱箱荷 中一由
増 乙箱荷 令枝 増 七藏箱荷 坂中一丁目
○ 尾塚箱荷 湯原新所 増 登任箱荷 下谷新所 下谷
○ 三侍箱荷 常三寺 増 末廣箱荷 谷中 下谷
増 龍河箱荷 細田新所 ○ 雲山箱荷 下谷 下谷
○ 多々良寺箱荷 信通院 増 高坂箱荷 小谷 小谷
○ 療心箱荷 小谷 白石 ○ 草膳箱荷 小谷
○ 聖教箱荷 市谷 丁上 ○ 茶樹箱荷 市谷 八幡
補 箱村箱荷 市谷 妻木寺 ○ 扇箱荷 法名 小門の
○ 世継箱荷 飯田町 増 松崎箱荷 市江 小寺

神田 每箱荷 牛込 門の側 土の上 海士 院のおけ 法名 法名
増 子安箱荷 四谷 退谷 ○ 三光院箱荷 四谷 新所
増 菜玉院箱荷 川田 小 ○ 護国寺箱荷 法名
増 光月箱荷 牛込 三ツ店 ○ 三侍箱荷 水戸 寺
○ 四谷箱荷 天王 社 ○ 高田箱荷 宝泉 寺
増 大窪箱荷 大窪 ○ 椿山箱荷 市江 寺
○ 新丸馬箱荷 市江 寺 ○ 末廣箱荷 市江 寺
○ 鬼箱荷 市江 寺 ○ 小松系箱荷 市江 寺
○ 石湯箱荷 市江 寺 ○ 赤羽箱荷 市江 寺
○ 霞山箱荷 市江 寺 ○ 兒箱荷 市江 寺
増 末廣箱荷 正位 麻布 坂下 所 法名 市江 寺
慶長年中 市江 寺 創の法名 市江 寺 末廣の号 市江 寺 柳
一とあり 枝葉 市江 寺 柳 市江 寺 市江 寺 市江 寺 市江 寺
て世人 末廣の柳 市江 寺 市江 寺 市江 寺 市江 寺

廣 山 寺 市江 寺 市江 寺 市江 寺 市江 寺 市江 寺

増 鈴降稲荷 別當願正院 三室院 直言善宗 現在良岡

祭神 三座 鈴降鳴神 小雀 奉祀土西教皇 弘法の作

徳元九、室統子日人會六、十代奉養院天慶の比より遠境

通聖の野人神法を仰く而してひつらるる卒代花園院

正和年中稲荷の神七果の童女よりつり我の鈴降宇

賀之社の靈神し指とるの鈴天の降降なり一ひ降

掌の家門繁榮なりとめんと神降ありより鈴降の

神號ありけ天降の鈴今ある社の什貫としてあり別

高社四谷仲倉ありありとて任賀所中倉所の巻に氏子

元禄八、美年今の地よりつるに西尾徳列候屋敷の地

淨願也二百四十一坪半し

増 綴記稲荷 敷地中下

増 世継稲荷 敷地中下

増 久田稲荷 敷地中下

増 文下稲荷 敷地中下

増 富士見稲荷 麻布町及此の山よりしりる 至聖地を對

○ 幸稲荷 芝切五 増 孝の稲荷 日ヶ所

○ 産稲荷 増 寺中 日比谷稲荷 芝口二丁目

○ 馬森稲荷 あまの下の 長坂稲荷 あまの長坂

○ 田中稲荷 芝切五 増 谷山稲荷 石川やつこ

○ 之輪稲荷 大室尾 高山稲荷 たつこハ

○ 満徳稲荷 小川土前 佐賀稲荷 小川さか所

○ 美文稲荷 小庄 三郎山稲荷 小川さか所

○ 三波稲荷 牛島五郎 立身稲荷 小川のさか所

○ 日光稲荷 中島 三圍稲荷 小川

○ 産稲荷 小川 五代世稲荷 法地

○ 六流稲荷 小川

○ 神明宮 何れ 生姜祭九月十四日 別當 不動院

○ 白山杉神社 敷地村 神主 敷本刑院 敷本右近

敷本右近

敷本右近

○七社

西ヶ原

正藏院

七社へ東に松尾のの東の方あり又佳天を真觀元年二月廿七日
深殿后の正藏ののりて春日唯神を齋法にさる可也内野 小野
萩野 蓮堂野 紫野 上野 平野 若七野の社と云
於此 我れむ七の中ありのゆゑにさる可也たのむれ 善法智

○就馬大明神

前集鶏大明神云

葛西礼又村 別名正産 真言 葛西来

毎年二月酉の日斎齋祭是日 羊取ののり法に心を束む

○神明宮

根津のくく門前 ○春日社

根津のくく門

補筑土社址

牛込門の西 根津候の慶友の末の本木の榎あり

足籠土の神あり門前の田母橋迄の社も筑土別名成就院の坊し
第集の社根津城の神本と記せし 根津なり ○筑土略源記の云
元和の比今の筑土より遷社の時け根津坂に至り神輿居りあ
らぬけ新のあぐ神遷り根津を奉りけりこと神輿あぐ
あぐあぐけ時より根津坂を水取坂といふこと

○赤城社

牛込根所 濟松寺山の方田地の中に五

間の平今ひのあり

○藏王権現社

小塚系大川のつり

三谷福壽院の持

祭神は地神才三瓊々杵尊し河父天忍穂耳尊沙母栲幡千千姫
所祀は木花用那姫 以上神道系譜 毎年七月十五日をまつあり

○道祖神

小日向水塔

牛込神別名勢門寺の持

け下を世俗大六天常々云 ○道祖神は地神し伊弉諾を杖を担

○釋神

芝の輪のくく通

芝の輪山安泰寺の持

いし社軍神と申るあり又鹿ヶ原の石神井の社あり又芝の
のりて石神井村あり河やのりて石神井の社あり又芝の
のりて石神井の社あり河やのりて石神井の社あり又芝の

○有喜壽

幡社之論在御寺大門のたき

安泰寺の持

くさすの森の神ありしうさすの事々あるの部ありしうさす

○高野明神丹生明神 二社一宮 二本振る宮寺修也

紀伊國伊東郡丹生津比咩 檜隈千々姫くさ野明神の由母く
紀列高野の修也くさ野明神の由母く

補氷川社 麻布惣鎮守 別當 真言 德乘院

文明年中太田通灌武列の一宮大文の氷川明神を初祀あり
一々當社旧地麻布切通一の地く今皆寺二の各井の長坂
あり二の各井の各井坂ありて社地二子坂余の太社あり
とて麻布一本松の南社の神本とては松よつきては
多一前編にも租するを云くしや疾まらくありては
くく一志くしとては松の河連の地古より氷川の列あり傍り
むれりてくしとては松の河連の地古より氷川の列あり傍り
○昆波明堂 麻布惣鎮守 多門山天觀寺 京大徳寺末 禪宗
る昆波の太子楠九本作り而徳太子の作多田滿仲の指記し
慶長のとろしとては阿部振列候ありとては度くの

其後振列候亦川の別荘とては
越く新築とては後徳之園列候くさ野明神の由母く

○昆波明堂 芙蓉校 松流山正徳寺 中山末 日蓮宗

傳教大師の作しむく一振は必一宗寺とては真言寺の本を
將軍義教の討故ありて日親上人は其の縁を降わくは死
閉眼日親上人の記ありとては日親上人の記あり

補昆波明堂 高田宝来寺 補昆波明堂 谷中 感應寺

○弁天社 牛の弁天所 曹洞宗 雲居山宗泰寺の指

○弁天社 牛の弁天所 真言 西齋院

○文六弁天 下谷幡屋院 真言 大聖院

○白蛇弁天 滝子寺所 時宗 神田山日輪寺

○鏡池弁天 ありとては 日宗 鏡池菴

○老女弁天 後草寺所 東光山西福寺

○鉈刀作の弁天 飯沼橋東徳助とあり 般若前 菴室

八臂の像なり七分弘法大師の作し 飯沼橋の邊に傳傳何某深文
より市中より運送の民家の門より光明様として和歌と傳
聖其布店よりあるより古き坐物をひきく様し 今迄の年々
流し弁天座中にありしをせりしある事年々一と云ふ
窟主よりある事ありし般多利と名付菴の所し 坐輪深きを傳し

▲八臂弁才天 古二鉈 二輪室 三ら 四室珠 頂より如意宝珠の宝光あり
▲大年才天 左より宝珠 右より宝釵 ▲夜音弁才天 琵琶を彈玉う形像

○琵琶は是天女の三尊の形にして列竹生傳の琵琶化して巨海と云
○義津三尊の所傳の令支月最勝王經より弁才天女と云
○曼曼識の所傳才二より大年才天と云 義楚六帖才十弁才天ハ
閻羅王の長婦と云く云ふことと日本に祀る所ハ佛説乃
弁才天と云異なるより 足賢の法書に云く 今夏子略と

二 各所古蹟拾遺

一 御外曲輪 中日本橋 南芝口橋 東大川

○補 日本橋封疆 祇園寺中よりけり 成け不を四口市と

云代地君教傳よりけり 今もこの所傳四口市と云

○補 白銀町封疆 志同 一も是も君教傳より代地と云る白銀

町丁分傳之く神田場と云る中けり 今も白銀町と云る

○通町 小方 節邊橋より今川橋 日本橋中橋 京橋芝口橋を

通く 今秋橋をすまの敷名大通りし 町幅十間し

○補 福田村の址 本所二丁目 補 六本木村の址 小傳所の邊

○補 附所 地名 本所小傳の下所 補 浮世路 地名 室所二目

補 茶師堂茶 むし 傳茶末之流の茶師は西よりありしと云

又云り 繩と云ふことより 本所小傳の上所 會合の人と

を之町下町十五日より 節より白銀町と云る 會合の人と

補吉原の旧地 水泉町 三反町 徳吉町 徳波町

補六門通 松名 元原野 補竈河原 松名 本名庄の町

補花町 松名 本名庄の町 補人形町 松名 本名庄の町

補野崎町 松名 本名庄の町 補葎町 松名 本名庄の町

補大横所 松名 本名庄の町 補大板所 松名 本名庄の町

補野崎町 松名 本名庄の町 補大板所 松名 本名庄の町

補野崎町 松名 本名庄の町 補大板所 松名 本名庄の町

補野崎町 松名 本名庄の町 補大板所 松名 本名庄の町

補野崎町 松名 本名庄の町 補大板所 松名 本名庄の町

補芝居 松名 本名庄の町

芝居の號は南都南大門新の徳より松名元原野にて徳の

後、床を没し徳子俊つゝ、松名元原野にて徳の

松名元原野にて徳の、松名元原野にて徳の

天王寺住吉等、松名の第番あり、かく松名元原野にて徳の

松名元原野にて徳の、松名元原野にて徳の

補神田の中 ○新小田系所 松名 本名庄の町

補佐竹殿前 松名 本名庄の町 補丹後殿前 松名 本名庄の町

補川井新石町 松名 本名庄の町 ○ゆづり所 松名 本名庄の町

補姥ヶ井 松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

松名 本名庄の町 松名 本名庄の町

達人數十年外カをくくせしありしとて及の回縁ありて
名流年中一永代為りしとて今を以て其の縁成りてとて
龍泉寺村 龍泉寺村の縁成りしとて今下谷は龍泉寺
あり其村の寺なり

○依津尾村 今龍泉寺村なりしとて及の回縁ありて
○文青寺村 下谷茶屋所ありしとて及の回縁ありて

○入谷 坂中の無りしとて及の回縁ありて

○大除 坂中の内中の縁成りしとて及の回縁ありて
○先聖殿旧地 東慶山今山名の縁成りしとて及の回縁ありて

の冬に文院羅山先生よりけりしとて及の回縁ありて
昔金二百金を賜りし又尾陽五相より一厦を託言あり聖像
造り顔曾思ふ其の縁成りしとて及の回縁ありて
釣命よりして陽縁ありしとて及の回縁ありて

○採樹 先聖殿の四徳今山王は世に凡はありしとて採樹の
ありしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

○補條輪洲中流 びりしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

かりしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

招きしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

社歌しとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

刊の書典せしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

つきて書生の夢とて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

比の病を治しとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

建ちしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

○東福寺茶所旧地 上野原中路西側天神之坂の角の角より
也念寺ありしとて及の回縁ありしとて及の回縁ありしとて

傳教支那の作七佛と云所の一の魁高寺の本寺なり 一心山主人の御遺

○番神堂 津田明神の下り高野所 高野の傍を流るる

後平如法と幸祐寺の旧地なり ○苗木山 津田明神の傍なり

○貞善和尚退院の址 湯島靈雲寺の後今成三座と成壇上寺

第三十二世の高寺大僧正の始なり ○炭園坂 本江加列所の傍なり

○育徳園 本江加列侯の庭の号なり其風景勤植の良園

乃廣太の文饒の平泉も比多今一必大の平園も又源茂盛

一北陸三列の人民に育の徳とある者あり其景なり

補道灌山 谷中の未日魯里あり一祝太田道灌のあり

成慶寺の天且那商長道觀坊より小庄官の宅地なり

去る事と云はるる乃灌の伴候の塚と稱する事あり又乃灌

船乗松より松をよめり一松ありかきこん慶人の成と云

ゆあり乃灌坊の事實なりと云と相傳る持資入道

にして高野の將の古跡なりと云とあり非様なり

かく穿鑿して其形之を道觀坊よりありは乃灌を考

に似たり一持資入道は乃灌の將なり虚伝と云

補握原塚 古書より王子村ありと記せり昔編の比王子村

ありと記せり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

王子村より十所ありと記せり平塚明神より本本二塚

あり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

やむし今田の中あり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

○握原塚 平塚明神の下り朝香の標あり

○竈壇塚 朝香の傍あり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

竈の傍あり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

○逢川 王子の標の流し本なる井川と云王子村の標

あり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

流法日夜東流去りあり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり乃灌の事なり

○不動滝 滝壺川成流の地約し所の中より不動なるあり

○千川上水の址 玉川より沸るを歴々菓鴨のまじり給也

富士前あり中江湯橋あり上野正上谷中下谷折系流身をこ

くもれ享保七八の比也

○大根系 せうを直性寺のまを深井友堂侯の平き西に

補 糺橋 小之川氷川の社下は流を小之川とす

あつふじいけき子程ありてあかき赤毛杖をかぶりおどろと子

子飛びし物のあり也あつころ大塚をこし愚かき道無ありし菓

鴨のまを水崎すまはるゆりこのたをを落る思あつとまひきま

あつらう向ふ秋の道あるをまの難しき甚だあつらうと

は川よりあひひて身のま油水もひてあつらうと

今を月の物産の難しきあつらうとあつらうとあつらうと

つひねをまの橋とすあつらうとあつらうとあつらうと

昨の福とあつらうとあつらうとあつらうとあつらうと

○淵立坂 小之川氷川の社の向松平大學侯の前の坂也

○板敷橋 小之川氷川後七八の土橋也

補 地蔵坊持の塔 小之川 祥雲寺あり碑の表に不動の像

右に酒徳院醉翁擲枕居士 辞世二首あり

これ人のたををかきまのこす秋をまをわたり

あつらうとあつらうとあつらうとあつらうと

指次いふは伊丹殿春秋と号酒井河列侯の儒醫にて秋よみ

し水鳥記と云自編の書あり我の玄列の文壇子ゆ

して六位の大酒官世英坊指次と号晋の劉伯倫を来し

今我の戯書し○指次遺骨と号一取谷中妙林寺に法を

信善院日守と号日蓮と号し妙林寺に改字ありて今天言に

は祥雲寺の塔に酒門を牙管任の掛別出石の塔と号

慶江の妙子

振出あり蜂籠の大蓋を海屬せし人し海子養門と海陽を
とす所子養を治ひ義三坊と名にそのころ法隆寺に任口
因ありし酒門人をくくし建てる塔とすその義三坊の建
せしは今享保十四のころ七十余ありて卒す

○補松紫水 不知松平播磨侯の平き内ありと云り元石川公常の
塔にくくしとす ○補二百坂 大田中一きの首の坂をいふ

○仲指町 上中下二筋ありねらふし中なる坂所と云

○吉祥寺橋 水た橋の目多くはきよ物言祥寺あり享保中築きしと云

○市之谷 志川令對の坂上の谷あり ○蟹ヶ池 志川が今所築きし
龍ありし池なりなり世に傳へく日の首を志す惜しむ一享保初
比目深し深しとぬちれとすむの号を今所の池は日暮と稱せ

○補哀侍 又鯉ヶ侍 五慶橋と中の橋の南の出渡を云え享保中
筋多留場之初は和子鯉魚池とすそのころより追年又留場とす

四 小日向 牛込 高田 大窪
市之谷 四谷 赤坂 渋谷

○小日向 姓古は小の鶴高日向と云人の所也なり 此後古日向の
址とすを今の比小日向といふあり 上水智鶴高山寺と云く向
字のありは鶴高の田基し今水所のありは傳氏に鶴高の一強と云り

○冷水の井 冷水書所 五慶橋の南の方くはせむし一池智道屋敷
にて池智傳好の井とすをたの氷とす後天土初屋敷と傳り傍に
書所を在るを冷水書所と云い御子享保六世の秋辻書所傳り

○お生坂 小日向中の橋の南松田孫中島交ぬ交の號し書所の机度
ありとすより世信紅筆中一きと稱れ

○お生坂 小日向の橋の南五筋所の坂し二坂並むるありと云

○乞食坂 小日向の南之橋虎の首の坂し

○櫻所 びりーけの地を系し大友の故一と云あり寛永のけめ
回線よりしては能く其根をのこりて七八年ともあま
はししとの後すもわりのし續く今其址のこもて

○大友氏新宅の址 牛込崎松寺の境内

其後の人吉大友氏 朝敵征伐の時不而の交あり大岡の地を
徴く文縁のこもりし跡にけりし其地を豊后にせしめし其
撫の地よりして門内跡のこもりし地を寛永年中ヤシの
大友中一と云ふ祖心禪尼梵堂となししゆりその
名もあきて今ある人すもなかり。大友のね ねのちより

○船山 中里の旧名しびりーは茶所茶屋あり壽寧軒
と号けしを路又達觀と云ひ一所看樓もありしと云

○神比立尾坂 中里の南組ヤシの地か一の坂し 前記の如く
いすよりよけ坂なり 江戸の園は比立尾方と記せし一あり
あまをすあまの浦とあり近里三の江戸の園は比立尾方とあり

中里の園は比立尾方と云ふ又比立尾坂とも云ふ一向は事如きも
今現の穴を變をせしむる古實の志 比立尾を云ふあり

○どぐめき 板所の先并天所の志

○長延寺谷 左内坂の山の谷し 前記は津島谷と云はれりし
万昌の長延寺ありは谷の所を長延寺谷所と云はれりし一は
なりその地を長延寺谷と云ふなり きの内よかの地今もなかり

○補津島谷 市谷柳所の中子 市谷と津島谷と云はれりし

○万昌院跡 市谷左内坂大淵の地跡あり 萬昌院と云はれりし
上列長年七葉禪林しその地を六書所とありは前記の如く後
又今の院ありしる者も其の地をたあり

○加賀屋敷 市谷尾陽所中 きの内の中

○清春院跡 市谷尾陽所中 きの内の中 享保八年の
回線の後院ありしと云ふ場を用ひし
○清春院跡 市谷尾陽所中 きの内の中 享保八年の

○牛小屋 七軒店市谷より西谷へり西へびじり江坂の邊にあり
けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の
時沙車の半をわらうと云

○補小栗原

本村 びじり 菅道院小栗原を築き居る所の四便なり

○大瀬所 本所所

産長所と云 ○久能所 十崎町 新本村の所

○四谷南寺町

大谷所の南 ○月小寺町 大通の北天王の所の

○伴賀所

ありと云あり ○新本坂所 後所松平松列侯の所

○石切所

ありと云あり ○新本坂所 後所松平松列侯の所

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○補忍原

四谷天王の社の西邊 きのこ 国東沙入國の所武列

○左門所

大末所 ○馬所 四谷 石巻も組中

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

○補千日谷

けき高き塙のふちをめぐり半を塙まきする所と云一院 市上階の

武列赤坂圓通寺募鑄千斤銅鐘備半十二辰
之候乞余因以十二獸弁之起句勤爲十二韻

兼山流光人未驚 牛王出世振梵鐘

虎狼野干氣縱橫 兔角方便誘群情

龍宮高處擊華鯨 蛇室腫破學心生

馬腹忽寔聖胎成 羊鹿牛車休復裏

猿啼霜降月色清 鷄人未唱客先行

狗不夜吠王舍城 猪觸金山轉崢嶸

○湯谷所 谷通坂下の谷澤也 此銘ハ深草の元政の作也

○元氷川 赤坂傳る所坂の久へ京保十五年に今のと井村まゝなる

○三河臺 今井 びり三河も様流籠の地し水川四束の下也

○淺野五列候と地 今の水川の束の傍也

○捨屋岩 龍土 松平大権守の地也

○五色椽 長老丸高木候の地也 今ありと今もは椽白紙の
に五色の紙を貼るなり 敷ひなき地なりと今もありと今も

○通明觀 渋谷岡部候の別墅をいひ地は性古渋谷重國居候の
所也 富民慶福の地也 其の右の地と云ふとあり

○地風景也 四時遊賞甚くそなり

- 五
- 梅田 芝 西窪 麻布 三田
- 高輪 二本椽 品川 白金 目黒

○徳座敷 西河元下小出信列候の地也 大木の板なり 秋葉村に
徳座敷の地と云ふなり ○一本橋 徳座敷の地と云ふなり

○利本の本 赤坂井候の地也 今ありと今もは門の石をいふなり

○加藤清正第宅の地也 井候傳る地也

○福徳正則第宅の地也 今ありと今もは松平隠列候の地也

○蒲生忠房第宅の地也 辰ノ口本多候傳る地也

○懐古松 徳塚のふもれに栽すの松にして樹幹は実の松と異なり

○月波樓 三田松平を殿する所在、看樓の号にして地の眺望

海色の多きを鑑み編めるありて、岳陽の大觀を彷彿とせり

城南才一の勝景なるあり、又奉公府君の樓、八人の相二程の希

珍あり、此のふもれの東、明集より中あり、ひらなるあり

○湖見坂 三田ひらなる坂のあり、代々の名坂にして

補龜塚 元は海海寺にあり、今土佐丹列候の甲、きりぬあり

中ひら、海海寺にあり、地を平らにせし、地を平らにせし

龜塚、今土佐家の甲、きのりぬあり、海海寺の甲、きりぬあり

亀塚、今土佐家の甲、きのりぬあり、海海寺の甲、きりぬあり

○古老のふらふら 晴天なる時、小亀多り、塚中より出たり、

先書に戸森子に三田四運寺は、塚ありと記し、おらり、あり

最編のまきり、石室あり、入り、おらり、あり、あり、あり

あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり

○醫王山靈芝 三田醫王の妙法寺の境内に靈芝生じ

寛文四年甲辰 上覧見よ入り、狩野探幽、此を圖

儒宗林學士その記を著し、傳し、彼を著し、あり

○天神山 芝如來寺の境内にあり

○二軒樓 ひら、上り寺の門、系た、あり、あり、あり、あり

二つあり、より、十尋にあり、大木の板二樹あり、性古、果、あり

其塚も切ひ、きり、今に上り寺の門前、あり、あり、あり、あり

もろ、け、三つ、の板、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり

下、論、半、町、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり

田、所、九、丁、の、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり、あり

○有喜壽森 下る論松平赤列候の御事きし町八台作系
 原委の境より大木の松ありし一箇一箇は木をひたり
 その幹がし今にのこり又里彦子云ひしは亦子奈の
 松一とありこの木松樹をそとひ其糞枝葉にかき
 あり入した白根の根をひきとるおとく光りよめて松樹
 葉とと書とつては亦海をひてこの尾さし出り首西
 仍徳なるの名あり成澤と目あるもの亦く古き小島
 首西の船いれも亦くおやこげくまの森を目ありし
 け亦の事なりしとむしは地高の長の地なりし表く地
 もよとありありひり大なるきとありて今もその
 今もよとありありひり大なるきとありて今もその
 ○光孝天皇の御陵の塔 藤原朝の御事きし町八台作系
 光孝天皇の御陵の塔 藤原朝の御事きし町八台作系
 光孝天皇の御陵の塔 藤原朝の御事きし町八台作系
 光孝天皇の御陵の塔 藤原朝の御事きし町八台作系

○品川 古代より甲胃に用る草正平草萬蒲草四名草
 なとありあり別集曰衣冠國大後庄より四名草を採る
 とありし草は威する種を正平草威する盛衰記に
 源朝政より威する種を正平草威する盛衰記に
 一統子衣冠國正平の種は正平草を採るよくと云り
 正平草 天平草正平 肥後國古代古用樹の名は正平草
 萬蒲草 又藤武草正平 肥後國八幡の種は正平草
 け亦川四名草を採るよくと云り又亦川を採るよと
 草の名となるもの重人の云中の種は亦川と名とあり
 補品川神農の地 今亦神農と云く寛永十七九月十六日亦川
 神農とて毛利秀元茶の湯神農あり神農の湯とて亦川
 一首信とて上意ありと云く

野の一首と 上意あり 三のふひわもとるなりてちひは天

○梶原景時 我皇を侍侍しふのわひありきり 教師松平土列候の下座ありと云又本福寺の字

○頼朝経扶 本福寺より六七町ほどあり

○白金 里人の云慶長のところの銀をわし掛かしてまうし一

○白金 里人の云慶長のところの銀をわし掛かしてまうし一

○白金 里人の云慶長のところの銀をわし掛かしてまうし一

○白金 里人の云慶長のところの銀をわし掛かしてまうし一

○白金 里人の云慶長のところの銀をわし掛かしてまうし一

○三回系 白金系のおもき松平村のあつきの相しは赤い三回村の

○千代子傳 永原村の内し目まもて松平を敵に及下座あり

○絶景観 河洲の館別荘の号なり其閑寂なる自然の佳其

○梶原景時 眞込村のあり一岸をく曲輪城といふきやうなる

○梶原景時 眞込村のあり一岸をく曲輪城といふきやうなる

○梶原景時 眞込村のあり一岸をく曲輪城といふきやうなる



鷺草

大十四寸葉は淡厚く似て小く小き者根は 七月白花用く其形は鳥の形に似たり 一足葉を背に角あり或曰淫草と水菜に ありは山に生入 大和本中見

○江府内外を分傍尔の場所

元禄土貨(五)

以托多内小新文馬に附し者不可系者也

- 浅草追分
- 下谷廣徳寺茶
- 駒込竹所
- 雑司谷四家土番町 提督町
- 市谷加賀屋茶
- 麩屋橋紀伊屋
- 浅谷算橋茶
- 芝牛町喰遠
- 本木扇橋東町
- 月業車橋
- 浅草新橋
- 谷中法水谷
- 岩川蓮花寺茶
- 牛込提所
- 市谷斤所
- 普光橋深所茶
- 橋上寺切通
- 本木高橋
- 月横町
- 月源橋
- 下谷の徳所
- 駒込月茶末勤茶
- 小日向水石所
- 市谷柳所
- 四谷大番所
- 麻布雑色町
- 本板の先後所茶
- 本木过の橋お木
- 月百車橋

三之卷軸

